

あ ゆ ち  
Ayuchi  
[No.95/2023.5]



「スリッパ着陸」 ボン靖二 (尾崎靖之)さん作

# 図書館に行こう！

図書館に行ったことはありませんか？  
行ったら何をしますか？  
知っているようで知らない図書館。  
名古屋市鶴舞中央図書館の司書である  
吉田紀子さんと石谷睦美さんにお話を聞いてみました。

## 誰にも平等に情報提供

どこのまちにもある図書館は、地方公共団体が設置し、運営する公立・公共図書館がほとんどだ。そしてすべての公立・公共図書館には、守るべきルールがある。

- ① 無料で利用できること
- ② 誰でも平等に使えること
- ③ あらゆる情報を提供すること

この三つのルールのもと、年齢・国籍・社会的身分など一切問わず、誰もが無料で自由に利用でき、あらゆる情報を得ることができるところとなっている。誰もが持つ「知る自由」「知る権利」を守っているの

が、図書館である。

では、図書館にはどんな使い方、楽しみ方があるのだろうか。読む。借りる。調べる。場を使う。この四つの視点から図書館を探ってみよう。



## 「知る自由」「知る権利」で実現した話

図書館の根幹である資料提供で、風力発電を作った実話があります。アフリカのマラウィという国に生まれ、家が貧しくて学校に通えない少年がいた。その少年は、近くの図書館で英語の辞書を片手に、風力で発電する方法を本から学び、廃材で風車を作り村に電気をもたらした。これは誰にでも平等に開かれた図書館という場所だから、成し遂げられた話の実例といえるでしょう。ちなみに、この実話は「風をつかまえたウィリアム」\*というタイトルで本が発行されています。

\*ウィリアム・カムクワンバ 文/ブライアン・ミラー 文  
エリザベス・ズーン 絵/さくまゆみこ 訳(さくま書房)

## 読む

### 知識と情報の宝庫

図書館には、あらゆるジャンルの本が揃っている。小説、趣味の本、ビジネス書、旅行ガイドブック、児童書、郷土史、新聞、雑誌など。棚には人気の本や話題の本、基本的な資料となる本が並べられている。その中から制限なく、興味ある本を好きなだけ読めるのが図書館の魅力の一つだ。例えば、一冊を読み終える必要はない。おもしろくなければ、すぐ読むのをやめ、次々



棚の上などには、司書おススメの本がピックアップされている。手書きのPOPを見るのも楽しい！

## 借りる

### 0歳から借りられる!?

図書館は、住んでいる地域に関係なく誰でも利用できる。例えば、旅先で見つけた図書館に行き、旅行ガイドブックなどを読んでも問題はない。

だが、「借りる」となると、条件がついてくる。地方公共団体により多少異なるかもしれないが、基本はその図書館がある都市に住んでいる人、または通勤・通学をしている人が対象となる。この条件のもと身分証を提示すれば、本を借りるときに必要な利用カードが作れる。年齢制限はなく、0歳児から作れる図書館が多い。借りられる冊数は決まっているので、子供の利用カードがあれば、親と子供それぞれで利用の幅が広がる。

## 人気の本は予約しよう!

読みたい本が、いつ行っても貸し出し中というときは、予約をしましょう! 順番になれば確実に借りられます。パスワードを取得すれば、図書館のホームページからも予約OK。また、新刊本を読みたい場合、図書館に所蔵がなくてもまずは相談してみてください。



「ぐりとぐら」  
なかがわえいこ 作/  
おおむらゆりこ 絵  
(福音館書店 出版)

子供のイベントで楽しめる大型絵本や紙芝居なども貸し出ししている。



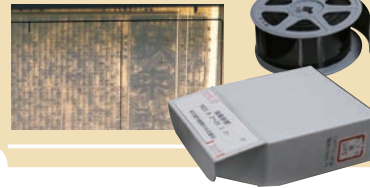
図書館の本は棚に並べられている本がすべてではない。並べられなかった本は、書庫で保管されている。絶版になった本や、ニーズが少なく書店では扱われにくい本でも、図書館に行けば出会える可能性が高い。まさに知識・情報の宝庫だ。

図書館の購入本は、司書による図書選択会議で、収集方針や蔵書構成などを考えながら決められている。



## 地域情報も充実

市史や村史、民話や民謡を記録した書籍などの郷土資料や、古地図や住宅地図といった地域情報が充実しているのも図書館の魅力の一つ! 古い時代の新聞など、マイクロフィルムで保存されているところもあります。



請求記号の一番左の数字が示す内容

0	総記
1	哲学
2	歴史
3	社会科学
4	自然科学
5	技術
6	産業
7	芸術
8	言語
9	文学

## 資料検索システムを使ってみよう!

たくさんある中から目的の本を探し出すときは、検索コーナーにある資料検索システムを使うと便利だ。

- ① 検索システムに本のタイトルを入力
- ② 表示された開架情報をプリントアウトする
- ③ 棚の場所、請求記号を確認
- ④ 請求記号の一番左の数字の棚を探す
- ⑤ 本の背表紙に貼られたラベルで同一の番号を探す

ここに出てくる請求記号は、日本十進分類法(NDC)によって分類された数字だ。そして図書館の棚は、日本十進分類法に基づいて並べられている。一番左の数字が何を指しているのか、少し覚えておくとう目的の本は探しやすくなるだろう。

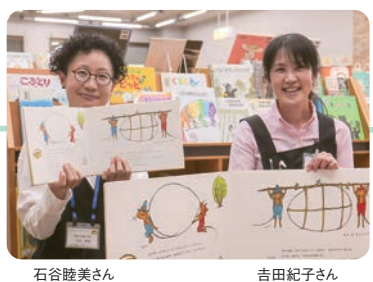
## 手順



## お話を伺った 吉田さんと石谷さんが勤める 名古屋市図書館はこんなところ！

創立  
100周年！

1923年に、名古屋市にある鶴舞公園に市立名古屋図書館が開館。現在は、名古屋市鶴舞中央図書館という名称で親しまれている。100年前に開館したときは、開架ではなく目録カードで管理されていたことが、残されている写真から読み取れる。しかも、当時は入館料と貸出料が必要であったようだ。その後、誰に対しても開かれた場であるという理念に基づき、現在では無料で自由に使える図書館になった。



石谷睦美さん 吉田紀子さん



蔵書を  
永年保存

名古屋市図書館では、受け入れた本は基本的に永年保存になる。明治や大正時代の本や、江戸時代の和装本など古い時代のものもあり、カウンターで請求すれば見られるものもある。時代の古い本はデジタル化されているものもあり、インターネットで見られることもできる。開館から100年分の知識が、ギュッと詰まった場所だ。



手元で  
図書館を  
楽しむ

名古屋市図書館では、新しい取り組みとして電子書籍サービスがある。パスワードを取得し、ホームページの「電子書籍」のボタンをクリックすれば利用できる。図書館へ行かなくても、24時間いつでも利用でき、手持ちのスマートフォンやパソコン、タブレットで読書を楽しめ、貸出期間が終了すれば自動返却される。今の時代ならではの、新しい図書館の楽しみ方だ。



図書館  
ごとに特徴  
がある

名古屋市図書館には、鶴舞中央図書館を含め二十一の図書館が名古屋市内にあり、各図書館の蔵書にも特徴があるという。例えば、鶴舞中央図書館は、名前に中央が付くだけあって、あらゆるジャンルがバランスよく揃っている。これが、近くにある施設が動植物園なら動物や植物に関連した本が、ドーム球場ならスポーツに関連した本が、海外の方が多く住む地域なら多言語の本がと、いろいろなまちの図書館を巡って、その特徴を見つけるのも楽しいかもしれない。



読み聞かせや、お気に入り本をプレゼントしてチャンプ本を決めるピリオバトルという、「名古屋ピリオバトルの会」と共催のイベント、ワークショップなども開催！気軽に参加してください。お近くの図書館でも、いろいろなイベントも行っているのでも、お問い合わせをしてみてください。



展示中！  
中学生の皆さんから贈られたウエルカムボード▲



名古屋市図書館では、地元、名古屋に関する調べものを特に受付中！

「7 名古屋なんでも 5 調査団 8」  
「パスファインダー」という調べもの案内が便利だ。一つのテーマに、自分で調べたい場合は、一緒に資料を探していくことで、自分で調べる力が身に付くように手助けしている。調べる楽しさを知ってもらうことが目的だからだ。

図書員は答えをすばり教えない。一緒に資料を探していくことで、自分で調べる力が身に付くように手助けしている。調べる楽しさを知ってもらうことが目的だからだ。

調べる  
調べものは図書館で

場を使う

レファレンス  
協同データベース  
国立国会図書館が全国の図書館と協同で構築している調べものための検索サービス。「100年前、タビオカはどんなふうに使われていたの?」「志段味村の村長が載っている資料が見たい」「魔法が使えるになりたい」など、多種多様な質問と答えが紹介されています。読むだけで知識も豊かになっていくようで、楽しい気分になります。

居場所としての空間  
図書館では長い時間滞在しても、少し立ち寄るだけでもOK。必ず本を手に取りなければならないというのではない。例えば、館内をぐるっと回って棚を見る、展示物を楽しむ、開催イベントに参加するだけでもいい。児童室では、親が子供に絵

持っているのが図書館だ。自分ならではの使い方をみつけて、図書館を楽しんでみよう。新しい世界が広がるかもしれない。



それぞれが思い思いに過ごせる、居場所としての機能も

本を読み聞かせたり、本を見ながら会話をすることもできる。リラックスしながらオフタイムを過ごす場としての使い方もあれば、勉強の場、ビジネスに必要な情報収集の場としての使い方もある。関連本を山積みにして利用することもでき、不足があればすぐ館内を巡って探すこともできる。



考えが行き詰まったときは、気の向くまま館内を巡ってみよう。思わぬヒントが見つかり、新たなアイデアが思い浮かぶかもしれない。

取材・撮影協力 / 名古屋市鶴舞中央図書館  
参考資料 / 「図書館「超」活用術 最高の「知的空間」で、本物の思考力を身につける」奥野宣之著(朝日新聞出版)、「図書館徹底活用術～ネットではできない!信頼される「調べる力」が身につく!」寺尾隆監修(株式会社洋泉社)、「司書さんめっぴっく!図書館にまいこんだ こどもの大質問」こどもの大質問編集部編集(株式会社青春出版社)、「知って得する 図書館の楽しみ方」吉井潤著(勉誠出版株式会社)

振り返ってみると、名古屋市役所に就職してから、貴重な経験をいろいろさせていただき、ありがたいなと思います。

私の役人人生の始まりは、名古屋市交通局からです。愛・地球博が開催されたときは、シャトルバスの運行を担当していた営業所の所長でした。環境万博ともいわれ、環境にやさしい天然ガスが燃料のCNGバスでお客様の輸送に携われたことは、貴重な経験です。また、市バスが乗り入れていなかった地域に乗り入れが決まったときの、皆さんの喜びの声は忘れられません。交通手段は生活していくうえで大切な移動手段であることを改めて実感したときでもありました。少しでも市民の皆さんの役に立てたのかなと思います、うれしかったですね。

次に配属された中川区長時代にも、初めての経験がありました。

一つは、名古屋市民が参加して行われる市民スポーツ祭の区対抗の部で、中川区が二連覇したことです。室内室外球技や剣道など様々なジャンルの試合が行われ、私も時間の許す限り観戦に行き、皆さんと一緒にうちわを叩いたりして一生懸命応援しました。区長は応援団長みたいな感じでした。祝勝会で胴上げしていたの場をもっと増やしていくことが、我々の仕事かと思っています。名古屋は、いろいろなジャンルの方が活動されていて、才能のある方たちがたくさんいます。その方たちの存在をもっとアピールして知ってもらうことで、名古屋の文化芸術の裾野ももっと広がっていくと思います。

好きな言葉に「人間万事塞翁が馬」「禍福は糾える縄の如し」があります。人生は良いことも悪いことも両方やってくるという意味で、まさにそのとおりです。ありがたい出来事もありましたが、時にはお叱りを受けることもありました。自分は良かったと思っても、独りよがりと思われたり、努力しているつもりでも上手くいかなかったり。努力と結果が必ずしもイコールにならないときは、単に流されるのではなく、結果をきちんと受け止め、「次をがんばろう」と気持ちを切り替え、前を向くようにしています。

これまで、いいチャンスを多々いただいてありがたい経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。その経験を活かし、恩返しではないですが、今度は私が応援団長として、名古屋のまちを盛り上げていく様々なことに取り組んでいきたいと思っています。――談――

だきました。一度目は宙に浮くのも恐ろしく体も縮こまっていたのですが、二度目は優勝監督のように両手両足を広げられました(笑)。忘れられない思い出です。

もう一つは、中川区制八〇周年記念事業の『中川区みんなで歌おう第九合唱団』への参加です。歌を歌ったことがなく、しかもドイツ語でしたので、皆さんにご迷惑をかけないよう練習しました。日本特殊陶業市民会館で大合唱したときは、仲間に入れていただいて感謝の気持ちでいっぱいでした。

区の仕事は、区民の皆さんの協力なしにはできないので、皆さんと直接コミュニケーションをとる機会が多かったですね。「みんなでまちを盛り上げていこう」という区民の皆さんと一緒に、いろいろな経験ができ、楽しく仕事をさせていただきました。



る市民文化の創造』に寄与するために、さまざまな活動に取り組んでいます。例えば、文化芸術を鑑賞する機会の充実や、劇場へ来られない障がい者の方々への出張公演など。また、作品の背景や舞台の裏側を知ることのできる講座や研修なども行っています。私も参加することがありますが、勉強になります。

特に、舞台技術の研修は興味深かったです。表舞台に立つ役者さん、音響や照明、舞台セットを操作する人など、それぞれが自分の役割をきちんと果たし、初めて一つの舞台がくり上げられていることがよくわかりました。それはどの仕事でもいえることで、チームワークの良さが良い仕事の成果につながっていくのだと思います。

その道を究められている方たちの演奏や舞台などを観ると、「すごいな」と感激のし通しです。これまで縁遠かった幅広いジャンルの文化芸術に触れられ、世界が広がり、感性が少し磨かれた感じがします。老若男女問わず、誰もがいつでも文化芸術に触れられる環境をつくるべく、活動されている方たちの発表

## 応援団長として、名古屋のまちを盛り上げていきたいです。

### 眞野隆久

(名古屋市文化振興事業団専務理事兼事務局長 愛銀教育文化財団評議員)



#### ■眞野隆久 プロフィール

1961年、名古屋市生まれ。立命館大学卒。1984年4月に名古屋市役所に入庁し、名古屋市交通局に勤務。2017年4月～2020年3月、中川区長。2020年4月～2022年3月、選挙管理委員会事務局長。2022年6月より現職。読書が好きで、子供の頃よく読んでいたのは落語。聞くのとはひと味違ったおもしろさがあるという。最近、次の展開が気になるミステリー系がお気に入り。楽しみを少しでも引っ張るために、通勤時間に少しずつ読み進めている。

毎週月曜日の午後10時に、YouTubeで配信される戦争体験の手記朗読チャンネルがある。配信者は、名古屋を中心に演劇活動を行っている俳優の菅谷瑞恵さんだ。「満蒙開拓を語り継ぐ手記朗読プロジェクト」として「二〇二〇年から始め、一度も休むことなく頑張つて続けています」

満蒙開拓とは、一九三二年の満州事変を契機に国策で行われた、満州への移住政策だ。送りだされた開拓団の多くは農民。望まなかった移住や開拓の厳しさ、日本政府による現地の人々への厳しい対応、家族の死、逃避行や帰国後に帰る場所のない厳しさなど、さまざまな状況が語られた手記が残されている。



「手記を読んで、厳しい」という言葉に、こんなにいろいろな意味があることを知りました。本当に知らないことばかりでした。手記に寄り添うように、静かに語る菅谷さんの朗読。始めたきっかけは、アフガニスタンの内戦で国を追われ、ノルウェーに移住したファリダ・アフマディ氏の著書本を舞台化した作品への出演だった。作品を創り上げていく中で、ファリダ・アフマディ氏からの「世

界を平和にするために、何ができますか」という問いかけに、表現者として何ができるのか考えていたとき、図書館の片隅で眠っている手記がたくさんあることを思い出した。「手記を書いたのは、何があったのかを『知ってほしい』という思いからではないかと、考えました。その思いを、インターネット上で誰でも聞けるアーカイブとして残していきたいと思つたんですね。今はYou Tubeでの配信のみですが、ほかに適切なアプリやメディアがあれば載せていきたいです」

「収益化するためには、二〇〇人以上のチャンネル登録者数が必要なので、ぜひチャンネル登録をお願いしたいです。よろしくお願いします」  
こういった活動も平和だからできるという菅谷さん。まだ構想段階だが、将来、子供たちが自身が作った朗読原稿で、戦争体験手記の朗読発表会を開催したいと思つている。平和を願つて、手記を残した人々の想いを語り伝えていく。

写真(上)ファリダ・アフマディ氏著「Silent Screams」から生まれたフィジカルダンスシアター



中国残留邦人を描いた舞台「望郷シリーズ」



戦争体験の手記朗読で紹介した原作本

https://www.youtube.com/@manmoukaitaku.syuki.roudoku

## 誰かに気づいてもらうために。戦争手記をアーカイブで残していきたい。

戦争体験手記の朗読  
菅谷瑞恵さん  
第33回助成(個人)

演劇人冒険舎附属俳優養成所を経て、総合劇団俳優館入団。NEO企画に所属後、芸能プロダクション「テアトルアカデミー」で演技講師になる。現在は劇団に所属せず活動。「やっとかめ探偵団〜探偵団は永遠に〜」「望郷・そして飛翔」などの多数の演劇作品への出演をはじめ、「マリエール」のCMや「JAとびあ浜松」のPVにも出演。俳優業の傍ら、子供の読書や遊びに関する講師や、ボランティア育成のための指導・コーディネーターも行う。



『名古屋式盆養切り込みづくり大輪朝顔』は、通称名古屋朝顔という。

「名古屋朝顔」というと、花の名前と勘違いされますけど、蔓を伸ばさず盆栽風に栽培する技のことをいうんですよ」

と、名古屋朝顔会会長の丹羽保夫さん。そもそも名古屋式盆養切り込みづくりという技は、明治二〇年頃、名古屋で音羽屋という薬店を営み、盆栽の大家でもあった店主が編み出した技だ。その後、さらに研究と改善が重ねられ、栽培方法の基礎が確立。明治三五年に、この名古屋朝顔会が創立された。



木曾鉢

花の種類は八〇種類以上あり、直径一八から二〇センチという大きな花が特徴。初めて見る人は、その大きさにまず驚く。だが、大きいほどいいというわけではない。花と葉と鉢のバランスが大切だ。花は五号鉢の中におさまる大きさで、葉は鉢から半分ほど出るくらいが、上品で優雅な姿といわれている。そして開花すると、一本の針金を使って花が真正面に向くように調整する。

「本来、開花した朝顔は、床の間に鉢を並べて、羽織袴姿で正座して鑑賞されていまし

た。そのため、花が目線に合うように角度を調整するんですけど、これがなかなか難しい。花びらは薄いので、気をつけないとすぐ破れてしまいますから」

今でも誰でも栽培できるが、当初は栽培も鑑賞も限られた人々の間でしか楽しめない格調高いものであった。それが、昭和三四年に栽培方法が一般公開され、現在のように誰もが楽しめる朝顔となった。

「種を蒔いてから花が咲くまで、約六〇日間。花を愛でる時間は半日ほどと短いけれども、毎日水や肥料をやつて、成長を見守り続けて咲いた花を、ハッと見たとき、本当に癒されます」  
約二〇年間続く伝統の技と、大輪朝顔の魅力を多くの人に知ってもらうために、毎年七月に展示会を開催。種

や専用鉢なども販売し、栽培方法も伝授している。また、この展示会時期の開花に合わせて講習会も行い、参加者は自分の育てた大輪朝顔を展示することもできる。「皆さんにも栽培にチャレンジしていただいて、ぜひ出展してほしいです」

という丹羽さんは、技を伝承していくために、美しい大輪の花を咲かせ続けていく。



紅玉の光

柴の折戸

新戸部の誉

会長の丹羽保夫さん



## 約120年受け継がれて。名古屋生まれの技で咲かす大輪朝顔。

名古屋式盆養切り込みづくり大輪朝顔の伝承・普及活動  
名古屋朝顔会  
第32回助成(団体)



明治35年(1902年)創立。会員数は113名(令和5年1月現在)。会員は県外にもおよび、年齢・職業・性別問わず、参加自由。毎年7月の下旬に、名城公園フラワープラザにて展示会を開催。愛好者の増加を目指して名古屋市青年大学誠誠学園(高齢者)で講習会も実施。優良銘柄種の保存と栽培技術の研究と普及に努めている。

2022年 12月

- なごや芝居の広場 第7弾「いつか来る季節」に出演  
〔昭和文芸小劇場(名古屋市昭和区)〕
- 堀 優子さん(演劇) 第23回助成・個人
- 松井真人さん(演劇) 第29回助成・個人

2023年 1月

- 菅野泰史さん(現代美術) 第15回助成・個人  
個展開催 2023年新春企画「海のレース」〔TOKI Art Space(東京都渋谷区)〕
- 語人 サヤ佳さん(語り活動) 第26回助成・個人  
ゆめばれつ ～月に一回だけ開催されるのんびり広場～『寄っついDAY』  
「生きづらさ・行きづらさ」〔とよ市民活動センターホール(豊田市)〕
- 八奏工芸展 出展〔名古屋栄三越7階特選画廊(名古屋市中区)〕
- 新野素子さん(染色) 第2回助成・個人「靴」
- 森 克徳さん(陶芸) 第4回助成・個人「彩釉花器」
- 西村一成さん(絵画制作) 第20回助成・個人  
西村一成展「Happy Trip Adviser」〔ハートフィールドギャラリー(名古屋市中区)〕
- 第9回日展名古屋展 出展〔愛知県美術館ギャラリー(名古屋市中区)〕
- 新野素子さん(染色) 第2回助成・個人「時の残しもの」
- 堀龍太郎さん(彫刻) 第11回助成・個人「グッジョブ」
- 森 克徳さん(陶芸) 第4回助成・個人「抱流」
- 堀龍太郎さん(彫刻) 第11回助成・個人
- 第11回爽創会彫刻展 出展〔アトススペースG(名古屋市中区)〕
- 第3回大森アカデミアデザイン展 出展〔地「ゆめ」アトサロン金工室(名古屋市中区)〕
- 古井戸芳生さん(現代美術) 第12回助成・個人  
YOSHIO FURUIDO Found-object 古井戸芳生 見出された対象  
〔山ノ内町立志賀高原口マン美術館(長野県下高井郡)〕

2023年 2月

- 菅谷瑞恵さん(教育・演劇) 第33回助成・個人  
おいでんアート体験フェア!「アートで Peace♡」ワークショップ  
「手回しオルゴールを演奏しよう」〔豊田市民文化会館(豊田市)〕
- 総合劇集団俳優館 第26回助成・団体  
日本の演劇人を育てるプロジェクト「會津わが町流流譚」  
(制作協力)〔愛知県芸術劇場小ホール(名古屋市中区)〕
- イミック新子さん(国際文化交流、絵画作品の発表) 第32回助成・個人  
第20回冬期ミニチュア100人展 出展〔ギャラリー名芳洞(名古屋市中区)〕
- 平松八江子さん(ピアノコンサート自主企画) 第6回助成・個人  
第53回愛知教育大学混声合唱団定期演奏会にピアノ伴奏  
で出演〔東文化小劇場(名古屋市中区)〕

2023年 3月

- 斉と公平太さん(美術制作) 第31回助成・個人  
個展「Big history & Days」〔タリオンギャラリー(東京都豊島区)〕
- Klänge(女声アンサンブル) 第32回助成・団体  
女声アンサンブル Klänge「クレンゲ」 vol. V～明日への祈り～  
〔ザ・コンサートホール(名古屋市中区)〕

仲間達の近況メモ

- 西村一成さん(絵画制作) 第20回助成・個人  
「西村一成展2023 パート2」〔ハートフィールドギャラリー(名古屋市中区)〕

2023年 4月

- 平松八江子さん(ピアノコンサート自主企画) 第6回助成・個人  
第2回笑い(ラフター)ヨガ 大フェスタ 第2部 ひらめのおしゃべりコンサートに出演〔西文化小劇場(名古屋市中区)〕
- 斉と公平太さん(美術制作) 第31回助成・個人  
グループ展 Exhibition「opaque ghost(不透明な幽霊)」に  
出演〔タリオンギャラリー(東京都豊島区)〕

2023年 5月

- 新城吹奏楽団 第6回助成・団体  
第96回定期演奏会〔新城文化会館大ホール(新城市)〕
- 語人 サヤ佳さん(語り活動) 第26回助成・個人  
語人 サヤ佳 語りの会～南吉の下宿に広がるサヤ佳 world～  
下宿時代の南吉に思いをよせる馳せる〔南吉の下宿先(安城市)〕
- 総合劇集団俳優館 第26回助成・団体  
「沖繩・戦世の伝説」〔栄能楽堂(名古屋市中区)〕

書籍・会報誌等の発行

- 江南郷土史研究会 第3回助成・団体  
1～5月…「江南郷土史研究会会報」527～531号発行
- 小牧市文芸協会 第2回助成・団体  
1～5月…郷土文芸誌「駒来」第612～616号発行
- まつり同好会 第25回助成・団体  
1・3月…「まつり通信」623・624号発行  
3月…まつり84号発行 特集「まつり同好会60周年記念」
- はんだ郷土史研究会 第19回助成・団体  
1・3月…「はんだ郷土史だより」第106・107号発行
- 野田史料館 第1回助成・団体  
1月…「野田史料館報」第165号発行
- 愛知歴史研究会 第7回助成・団体  
2・4月…「あいち歴史会誌」第178・179号発行
- 名古屋民俗研究会 第8回助成・団体  
2月…「名古屋民俗」62号発行
- 長久手市郷土史研究会 第13回助成・団体  
3月…「胡牀石」第61号発行

YouTube

- 菅谷瑞恵さん(教育・演劇) 第33回助成・個人  
「満蒙開拓を語り継ぐ」手記朗読プロジェクト  
〔毎週月曜日22:00～配信〕

※ここには事務局に入った連絡分をまとめて掲載しました。連絡状況によって、掲載のタイミングがずれる場合があります。ご了承ください。今後も皆さんの活動状況をお知らせいただければ幸いです。

公立高校では強豪校と呼ばれる旭野高校陸上競技部。高校からの陸上デビューの生徒も多く、競技力の高い選手が多いというわけではない。だが、二〇二三年、男子ハンマーと女子三〇〇〇mの選手がインターハイに出場。二〇一八年より五年連続で、インターハイをはじめとする全国大会に選手を輩出している。「生徒はみんな、とにかく一生懸命練習します。それが、良い結果に繋がっています」という顧問の三宅孝司先生の練習のこだわりは、継続だ。同じ練習を繰り返して行うことで、自分の力となつて身につけていく。そして、一、二年生にはできる限り先輩と話す機会を持つようにしている。経験談を聞くことで、今行っている練習がより確かなものとして捉えられ、取り組めるようになるからだ。「いい記録、成績を出す仲間がいれば、そこを目標にして頑張れます」「スランプの仲間がいれば、支え合いながらお互いの記録を更新していきたいです」と、口々に話す生徒たち。競技の垣根を超え、自分以外の生徒の記録や体の状態などもよく知っている。

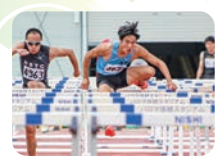


「最後のインターハイに向けて状態のピークをあげ、個人種目でも、リレー種目でも悔いが残らない結果を出したいです」と、意気込みを語ってくれたキャプテンの鈴村颯太君。全国大会へ向けて、部員が一丸となつて目指すのは上位入賞。二〇二三年、新たな挑戦が始まった。

「生徒全員がお互いをリスペクトしています。常にお互いを気にかけて、記録を伸ばしてしている仲間がいれば、『自分もできるはず』と考えて練習に励めるのが、本校の強みだと思っています」という三宅先生の心配は生徒たちの怪我だ。怪我をしたときに大活躍しているのが、当文化財団の助成で購入された室内トレーニング用のバイクだ。足に負担をかけずにトレーニングができるため、怪我からの復帰が早くなったという。また、普段の練習メニューの幅も広がった。練習環境は恵まれているとはいえないが、その中で生徒たちは体の使い方などを工夫しながら練習に取り組んでいる。



部のスローガン「俺が走る」を背中に



後列左/横井仁君、右/高田理生君  
前列左/中村凌玖斗君、前列右/キャプテンの鈴村颯太君

## 自分もできる! 高めあえる 仲間の存在が励みとなり、力となる。

### 陸上競技部 愛知県立旭野高等学校 第32回援助(高校生)

部員はマネージャーを含め38名。短距離・跳躍・長距離・投てきなどのブロックごとに分かれ、3人の顧問が指導。全国高等学校総合体育大会陸上競技大会や全国高等学校陸上選抜大会をはじめ、東海高等学校総合体育大会などにも出場し、多くの入賞者を輩出。2022年には女子の駅伝チームが、全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会で第9位入賞し、団体競技で上位を目指すうえで励みとなる結果が得られた。

顧問の  
三宅孝司先生



### 編集後記

図書館には、本などにいるような本が揃っています。読書に興味がなくとも、画集や図鑑をながめるのもおもしろいし、今はマンガを読めるところもあるので、機会があればふらっと覗いてみてください。もしも開いたら、新しい世界への扉が開くかもしれませんよ。

### 表紙作品



「スリッパ種」  
縦200x横200cm高さ220cm  
ブラタン、綿、スリッパ  
インスタレーション

### 作者の言葉

個展「ターミナル」展  
ing.039で発表したイン  
スタレーション作品。  
積み重ねられるスリッパ  
を飛行機の連続写真と捉  
えて、それが着陸する様  
子を表現した。  
手前と奥行きや、制作の  
クオリティーを上げすぎない  
ことで難しい説明を簡単  
に言い切れるように調整し  
た。

第34回 (令和5年度)

# 助成対象者募集

募集期間 5月15日(月)～6月30日(金)

## 募集要項

### 一般助成

#### ●対象

愛知県内を基盤に、教育及び文化活動の維持発展に努力し、地道に、継続的、独創的な活動を行っている個人又は団体で、次の条件を満たすものとします。

①行政機関(国又は地方公共団体)から助成を受けていないこと。

※助成が反復・継続ではない場合、助成金額が少額の場合はこの限りではありません。

②営利を目的としないこと。

(注)「教育活動」とは社会教育活動(スポーツを含む)を主体とします。「文化活動」とは音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、工芸、文芸、郷土史研究等の分野とします。

#### ●応募または推薦

原則として、個人又は団体からの直接申請としますが、第三者からの推薦申請も認めます。

#### ●助成金の額及び件数

個人に対し、助成金は1件につき30万円を8名以内。団体は1件につき40万円を10団体以内。

#### ●助成金給付の決定及び通知

給付の決定は選考委員会の選考審査を経て、理事長が決定します。結果は書面にて申請者に通知します。

#### ●助成金給付の時期

助成金は決定通知後、1ヶ月以内に給付します。

#### ●申請方法

◇申請用紙はホームページよりダウンロードしてください。

◇所定の申請書に記入のうえ、5月15日(月)から6月30日(金)までに当財団へ郵送してください。(当日の消印まで有効とします。)

### 高校生への援助

#### ●対象

愛知県内の高等学校における文化及び体育活動。

#### ●援助金の額および件数

援助金は文化活動が30万円単位、体育活動が50万円単位で、各150万円以内。

※応募の際の申請書並びに添付資料はご返却いたしませんのでご了承願います。

※応募された方の個人情報につきましては、当財団事業にて使用させていただき、当財団の個人情報保護方針に基づき適正に管理します。

#### ●申請方法

「文化活動」においては愛知県高等学校文化連盟、「体育活動」においては愛知県高等学校体育連盟の会長推薦が必要です。

※その他、募集期間等については一般助成と同様です。

## お問い合わせ先

〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号(愛知銀行本店内)

公益財団法人 愛銀教育文化財団 事務局

☎(052)262-9601 ダイヤルイン

<https://www.aichibank.co.jp/company/csr/foundation/>



あゆち第95号 ● 2023年5月

発行:公益財団法人 愛銀教育文化財団

〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号

愛知銀行本店内 ☎(052)251-3211(代)

<https://www.aichibank.co.jp/company/csr/foundation/>

